

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

## ④ 公開特許公報(A) 平3-8967

⑤ Int. Cl.<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 平成3年(1991)1月16日

E 04 F 15/02

C

7805-2E

審査請求 未請求 請求項の数 32 (全8頁)

⑥ 発明の名称 床張り板及びその床

⑪ 特 願 平2-131117

⑫ 出 願 平2(1990)5月21日

優先権主張 ⑬ 1989年5月22日 ⑭ イタリア(IT) ⑮ 20594A/89

⑯ 発 明 者 カミロ・ザングランデ イタリア共和国ミラノ、ヴィア・アセリ 25  
イ⑰ 出 願 人 アルタイゴ・ソチエ イタリア共和国ミラノ、ピアツツアレ・カドルナ 5  
タ・ベル・アツイオー  
ネ

⑱ 代 理 人 弁理士 湯浅 恭三 外4名

## 明 細 書

## 1. (発明の名称)

床張り板及びその床

## 2. (特許請求の範囲)

1. 単色の弾性材料からなるスラブであって、ほぼ均等なパターンを有し、フロア液いの一部を形成するように設計されたベース表面を備え、前記スラブがグループを構成するように相互に関連付けられた多数の細長いレリーフを含み、前記レリーフのいくつかのグループが、前記スラブに使用される光を反射する方法で反射するように、他のグループのレリーフと異なるように配列されているスラブ。

2. 請求項1に記載のスラブにおいて、隣接するレリーフの間の間隔が0.4 mmないし3 mmであるスラブ。

3. 請求項1あるいは2に記載のスラブにおいて、前記レリーフの前記ベース表面に対する相対的な高さが0.2 mmないし1 mmであるスラブ。

4. 請求項1、2あるいは3に記載のスラブにお

いて、いくつかのグループの前記レリーフが他のグループのレリーフに対し、20度ないし160度の範囲の角度で相対的に傾斜しているスラブ。

5. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記スラブが少なくとも、それぞれがレリーフを備えた3グループから形成されたベースモジュールを備えてなり、前記モジュールが前記プレートの全体にわたり反復され、前記3つのグループの少なくとも1つが他の2つのグループのパターンと異なるパターンを有するスラブ。

6. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記スラブが少なくとも前記スラブの全体にわたり反復されたベースモジュールを備え、前記モジュールがレリーフを備えた数個のグループから形成され、前記ベースが少なくとも、相互に直角な中央軸線及び対角線とにより形成されたほぼ方形のメッシュを有するネット内側にあり、前記グループが少なくとも前記軸線及び対角線の両に配列されているスラブ。

7. 請求項8に記載のスラブにおいて、中央のグ

JP,03-008967,A	<input checked="" type="radio"/> STANDARD <input type="radio"/> ZOOM-UP ROTATION	No Rotation	<input type="checkbox"/> REVERSAL	RELOAD
PREVIOUS PAGE		NEXT PAGE		



## 特開平 3-8967(2)

ループが前記モジュールの内側に配置されているスラブ。

8. 前記絶縁層上の端のグループのレリーフが前記対角線上に配置された端のグループのレリーフと異なるパターンを有するスラブ。

9. 請求項8に記載のスラブにおいて、前記スラブが前記軸線上及び対角線上に配置された端の対の端のグループに対して1つの中央グループを備えてなり、前記中央のグループのレリーフが前記端の対の少なくとも1つと同じパターンを有するスラブ。

10. 請求項9に記載のスラブにおいて、前記レリーフのグループのレリーフが前記スラブを形成する端に向かって傾斜しているスラブ。

11. 請求項6に記載のスラブにおいて、対角線上にある前記端のグループのレリーフと、前記軸線上にある前記端のグループとが前記スラブの外形側面の1つに対し相互に対称的に傾斜しているスラブ。

12. 請求項6に記載のスラブにおいて、前記対

3

角線に沿った端のグループの最大寸法が20μmないし25μmの間にあるスラブ。

18. 請求項15に記載のスラブにおいて、前記埋め込まれたピースが隣接するグループの外形側面に平行な側面により形成されているスラブ。

19. 請求項1に記載のスラブにおいて、レリーフを備えた前記グループの軸線と前記ベース表面との間の比が0.4ないし0.6の範囲にあるスラブ。

20. 請求項1に記載のスラブにおいて、レリーフを備えた前記グループが多角形の形状により形成されているスラブ。

21. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記グループ内の前記レリーフが相互に平行であるスラブ。

22. 請求項1に記載のスラブにおいて、レリーフを備えた前記グループが平行かつ相互に同一であり、前記レリーフのピッチが1.5 μmないし3 μmの範囲にあり、レリーフの方向に斜し傾角に割

角線上にある前記端のグループのレリーフが、前記軸線上にある前記端のグループのレリーフと直角であるスラブ。

13. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記対角線上にある前記端のグループのレリーフが前記対角線上の1つと同じ方向を有するスラブ。

14. 請求項6に記載のスラブにおいて、前記軸線上にある前記端のグループのレリーフが前記対角線上の1つと同じ方向を有し、前記対角線上にある前記端のグループのレリーフが他の対角線のそれと同じ方向を有するスラブ。

15. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記スラブが、前記ベース表面の一部であるストライプにより相互に分断されたレリーフを備えた前記多数のグループを備えてなるスラブ。

16. 請求項11に記載のスラブにおいて、前記スラブが隣接するグループの中間に隆起部を備えてなるスラブ。

17. 請求項11に記載のスラブにおいて、前記スラブが隣接するグループの中間に配置された埋め

4

込んだレリーフのグループの最大寸法が20μmないし25μmの間にあるスラブ。

23. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記スラブが方形の表面を有し、前記方形のいずれかの対角線方向のレリーフを有するグループと残りの対角線方向のレリーフを有するグループとが設けられているスラブ。

24. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記ベース表面がなめらかであるスラブ。

25. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記ベース表面が多数の均一に配置された埋め込まれたピースを備えてなるスラブ。

26. 請求項15に記載のスラブにおいて、前記スラブが、各埋め込まれたピースの自由端から始まる前記多数のレリーフを備えてなるスラブ。

27. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記スラブが、前記ベース表面の全体形状に相って延びる所定の幅のベースストライプを備え、前記ベース表面が残りの内部表面と異なる方法で作られているスラブ。

5

JP,03-008967,A	<input checked="" type="radio"/> STANDARD <input type="radio"/> ZOOM-UP ROTATION	No Rotation	<input type="checkbox"/> REVERSAL	RELOAD
PREVIOUS PAGE		NEXT PAGE		

## 特開平 3-8967(3)

28. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記スラブが前記ベース表面の形状の上に延びる不均等なストライプを備えてなるスラブ。

29. 請求項1に記載のスラブにおいて、前記スラブが、前記スラブの前記ベース表面のみからなる領域と互い違いになっているリブの形態の前記レリーフを備えた多数の領域を備えてなるスラブ。

30. 請求項19に記載のスラブにおいて、前記ベース表面をけりからなる前記領域が微細粒子又は不純物などを備えているスラブ。

31. 粘性・弾性材料からなるフロア被いであって、請求項1から30までのいずれかの項に記載の前記多数のスラブを備えてなるフロア被い。

32. 請求項1に記載のフロア被いにおいて、閉接するスラブが相互に異なるフロア被い。

3. (発明の詳細な説明)

## 産業上の利用分野

本発明は、床張り（フローリング）用に使用される弾性材料などから製造されたスラブ(slab)に

7

ピースが切断されているゴムの層がある色のペンキにより覆われているものである。次に、該型こまれたピースの頂部で該ペンキを研磨して、埋め込まれたピースと残っている外側表面との間の異なる色を浮き上がらせる。

同様に、米国特許申請第4,731,138号申請書においても、多数の埋め込まれたピースの配列のため相互に型板に形成された異なる色彩の隣接する2層により製造されたゴム床張り被いが知られている。

その後、該型板から除去された製品は2つの適当なプレート間に圧縮状態で置かれ、圧縮状態のまま切断装置へと、埋め込まれたピースを被覆している上部層を除去するために該プレートに平行に送られる。

## 発明が解決しようとする課題

公知の実施例はすべて、研磨及び切断工具の使用及び、一般に上部被覆層のそれとは異なる低弾性の色彩を露出させるためにいずれかの材料を除去するための適当な道具を必要とする。

9

同し、かつ前記床スラブを含む隣接した床に関する。

更に詳細には、本発明は、単一色彩からなる弾性材料から製造されているけれども、異なる色彩を露出した領域でフローリングするためのスラブに関する。

## 従来の技術

スラブ、プレート、タイル、その他の同様の材料を使用してなす広範囲のフローリングは、当業者に公知である。

例えば、フランス特許申請第5,124,821号明細書は、相互に一体成形されたゴム又は合成材料の隣接する2層により製造され、つぎに該2層内に多数のピースが埋め込まれ、最後に、上部層と異なる色彩を有する低弾層の色を示すように、埋め込まれたピースの領域で上部層から弾性材料を除去するようになされた床を開示している。

同様に、その他の場面にあって使用されている解決法は、例えば米国特許申請第2,915,783号申請書に開示されているように、埋め込まれた

8

しかしながら、切断作業は埋め込みピースの頂部を形成する、不均等な層の形成を生ずる可能性があり、切断層が埋め込みピースの間に存在する非常に狭い隙間に残る可能性があり、これが、作業層の存在のせいで製品の美的観感を損なわないようにするための複雑な作業を困難にし、複雑にする。

公知のプロセス及び実施例のその他の欠点は、外側表面に配置された異なる色彩によって、各スラブ又はフロアのために数個のゴムの合成物を使用する必要があるという事実である。

不幸なことに、異なる色彩を達成するために前記合成物を多様化することは、所望の色彩に至るための数回の試験を含む異なる構成のみならず、実装させた製品を試験して審判することを必要とし、最終的には費用が高くなる。

公知の実施例に関連するその他の欠点は、1領域の他に對する異なる色彩が、材料の劣化のせいで時間の経過に従い、硬化を生ずる可能性があることである。これは下測の目で見える状態が所望の

JP,03-008967,A	<input checked="" type="radio"/> STANDARD	<input type="radio"/> ZOOM-UP	ROTATION	No Rotation	<input type="checkbox"/> REVERSAL	RELOAD
PREVIOUS PAGE			NEXT PAGE			

## 特開平 3-8967(4)

それと異なる外観を生ずるような形態である。

## 課題を解決するための手段

本発明は、上述の欠点が生かれないフローリング用スラブ又は関連するフロアを提供することを目的とする。

そのため本発明の目的は、ほぼ均一なパターンを有し、該フロア被いの一部を形成するように設計されたベース表面を備える単色弾性材料などで作られたスラブを提供することであり、前記スラブが多数の細長いレリーフを含み、それらが相互にレリーフのグループを形成し、その中で該レリーフのグループが該スラブ上に作用する光を異なる方法で反射するように他のレリーフと異なるように配置されている。

## 実 施 例

第1図において参照番号1により同定されているのが他のスラブとともにフロアを形成するために設計されたスラブの部片であり、例えば市民用、産業用建物、橋のフロア、待合室又は公共の建物などがある。

1 1

が傾斜aに対し同一の方向及び状態で傾斜しており、これに対して、対角線c及びdの端点に配置されたグループ4、17及び8、19、は、前のレリーフ群または傾斜a及びbの端点のレリーフのそれに対し交差する方向のレリーフ3を含み、対角線c及びd上のレリーフは、傾斜aに対し相互に対照的に傾斜している。

他の好ましい実施例においては、第1図に示されているスラブ1は、対角線c及びdの端に配置されているグループに属するレリーフと同じ方向に配置されたレリーフ3が形成された中央グループ8を備えてなる。

レリーフの配列が異なると、異なる光の反射が生じ、上述のように、単色スラブの色彩に色相の変化が生ずる。

第1図のスラブ部分1は、スラブの長手方向及び横方向の延長全部にわたり反復するパターンのベースモジュールから構成され、又は代替的形態として、相互に異なりかつ前記スラブ上で反復される数値のモジュールが使用可能である。

1 3

スラブ1は単色の粘弾性材料から製造される。

これ以後、「粘弾性材料」の用語により、弾性ポリウレタン、熱可塑性材料などのような公知のフローリングに使用可能な通常の材料すべてを称する。

暗色の弾性複合材からなるスラブ1は方形のベース表面2とスラブ表面から突出する長手方向のリブの形態の多数の細長いレリーフ3とを備える。

本発明の基本的特徴は、レリーフ3のグループの構成、及び含まれる前記レリーフが、そこに作用する光を異なる方法で反射するように他のグループのレリーフと異なる方向を有するような前記グループのいくつかの配列の両方である。

第1図に示された解決法及び上述の一般的原则に基盤を置いた可能な実施例は、参照番号4ないし12により同一と見なされた複数のグループを形成することからなる。

垂直な軸線b及びeの端点に配置されたグループ5、11、及び7、9、レリーフ3を含み、これ

1 2

それ自体の上に密に付けられるために使用される形態のフロアは、同一のスラブか又は相互に異なるスラブから構成可能である。

1つの実施例に従えば、異なるグループのリブ3は相互に平行であり、およそ0.4 mmないし3 mmの範囲のピッチ間を有し、最大限0.1 mmないし1 mm、好ましくは0.4 mmないし0.7 mmの範囲に含まれる高さを有する。

前記レリーフが同じ高さであるため、それらの間の適当な距離、リブ3の高さを減らすこと、前記スラブ上の所定の延長域等などが、異なる視覚的に注目される色相を有するスポットを生ずるように、光を反射する現象を伴う。

隣接するグループのリブの間の傾斜角度の値は20度ないし160度好ましい。

その他の好ましい実施例によれば、側部10aの方形のスラブのベースエレメントにおいては、リブの数は16から3まで変更可能であり、一方でリブの厚さは0.2 mmないし3 mmの間に差押される。

1 4



JP,03-008967,A	<input checked="" type="radio"/> STANDARD <input type="radio"/> ZOOM-UP ROTATION	No Rotation	<input type="checkbox"/> REVERSAL	RELOAD
PREVIOUS PAGE		NEXT PAGE		

## 特開平 3-8967(5)

3μmないし6μmの側面を有する方形のスラブ、又はその2倍、3倍及び四倍にあたる、エレメントの最大値と最小値とは、以後第1図に示されているモジュールに関連して仰承の方法で与えられる。

—リブの厚さ $s = 0.1 - 1 \mu m$ 、

—リブのピッチ $p = 1.5 - 3 \mu m$ 、

—ベース表面2からのリブの高さ $= 0.5 \mu m$ 、

—グループごとのリブの数 $= 14 - 16$ 、

—グループ内の最大寸法 $L = 10 - 25 \mu m$ 、

—リブで被われた表面積率とスラブの全表面との比 $= 0.4 - 0.8$ 。

第1図に示されているように、その他の可能な実施例においては、あるレリーフのグループは、ベース表面2の一部分であるストリップ又は範囲13、14、15により相互に分離され、そのベース表面2は、隆起部18の頂部と対照的に光沢ある傾坡に開始点(origin)を有するように、不均等性がなく、その隆起部18の外形は隣接するレリーフのグループの外形と平行である。

1 5

全な状態で吸収し、そのために既に言われているように、本発明により達成された光学的効果は、それは低減の助けによってのみ説明可能である、ということは当業者には既に明白である。

可能な仮説によれば、光の方向は、第1図にある矢印Pの状態及び方向にある態でスラブに作用し、かつレリーフ3により生ずる光の複数の反射(点線)は同じ図面に示されている反対側の位置に配置された観察者A及びBにとって明らかにより、単に図式的かつ表示の方法であると考察される。

前記仮説によれば、グループ4及び6に作用する光線FはAの部分に影をつくらうとするレリーフ3の傾斜のせいで、いくらかBに向かって反射され、Aに向かって邪魔され、それに対しグループ5上に作用する光線はAに向かって反射され、隣のグループ4及び6のそれとは異なるレリーフ3の傾斜のせいで、Bに向かって邪魔される。

実際には、前記スラブ上の異なる光の反射は以下の表のように要約される。

1 7

グループを形成するストリップのなめらかさと多角形の外形の頂部との間の視覚的コントラストは、多くの方法で達成可能であるが、例えば、隆起部自体を形成するために設計された製造部品のサンドブラストのような適当な反照手段あるいは製造部品の他表面に適切な不均等性を伴うことで前記隆起部の頂部を鈍くすることにより行う。

本発明は所望の目標を達成する。

本発明により達成された結果の説明は、ある仮説によってのみ可能である。それは、藍色、緑色又は可塑性材料の光学的効果及びそのような材料上のレリーフの形状のパターンに生ずる現象はまだ完全には明白でないという事実のためである。

それに加えて、例えば藍色又は黒色の複合材により形成された第1図に示されているようなスラブ又は同様の形状によりスラブの異なる領域における同一色のぼかし(graduation)の効果を達成することが可能である、ということが発見された。

要限に、黒色のボグイは光を多かれ少なかれ光

1 9

上部において、第1図のスラブ1のレリーフ4から16のグループ。

下部において、符号+ (プラス) 及び- (マイナス) により、A及びBに対して、それぞれ異なる色相を有するグループと、暗い色相を有するグループ。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	-	+	-	+	-	+	-	+	-
B	+	-	+	-	+	-	+	-	+

事例において最初の構造物(starting composition)において使用されている色相は、異なるレリーフ上の光の反射の異なる効果により、黒とは異なるある環境の下で色相を取り上げ、冷たい灰色からセピアのような暖かい黒に変る。

A及びBにより見えるスラブ上の異なる色相は第2図及び第3図に示されているが、暗いスポットは黒いストライプとして示されている。

上述の図式的表と第2図及び第3図から明白なように、スラブを観察する各観察者は、多かれ少なかれ交互的方式で配置される、全く異なる色彩、

JP,03-008967,A	<input checked="" type="radio"/> STANDARD <input type="radio"/> ZOOM-UP ROTATION	No Rotation	<input type="checkbox"/> REVERSAL	RELOAD
PREVIOUS PAGE		NEXT PAGE		

特開平 3-8967(6)

いずれにも異なる構造的形態を有する異なる形態を見ることが出来る。

同一の色彩の異なる色相を有する複数の多面性は、隣接部18が追加的に存在することにより更に増加し、隣接部18の頂部端は非常に光沢のあるレリーフのグループと比較して、鈍い、あるいは磨削しの外見を有する。

本発明が公知の技術の欠点を克服することは明白である。

実際に上述のように異なる色の彫又は色相を有するフローリング表面を完成するために単色構造物 (composition) を使用することにより、複雑な異なる構成と、それに従って、多色構造物が使用される公知のスラブに必要な検査とが省略される。

それに加えて、本発明の単色スラブは、長い間に磨耗が生ずるけれども、時間の経過により異なる領域の間の色相を変化させることがなく、これに対して公知のスラブにおいては、所定の構造物における単色の劣化により他の隣接する色相との関係で、受容できないような顕著な変質が生ずる。

1-9

り、1つは上述のように元の反動状態に対する原型 (origin) を与えるために使用される。次に前記スラブは他のスラブと適当な組み合せに従い組み合わされ、それにより各スラブにレリーフが与えられる領域が、視覚的観点から、フロア表面に同一の色の異なる色相を生ずるようになされる。

いくつかの好ましい、及び代替的な実施例が示され、説明されてきたけれども、本発明はそれに限定されるものではなく、それにより当業者に明白なすべての改良は本発明の範囲に入るものである。

例えば、スラブは第1図に示されたそれとは異なるレリーフのグループから構成することが可能であり、特にスラブは、三角形の頂点に配置された3つのレリーフのグループからなるベースモジュールを含み、少なくとも前記グループの1つが他のグループのそれとは異なるパターンを有する。

更にその上、前記レリーフは第1図とは異なる多角形の形状により形成されたグループに従い結合

指摘されるべきことは、本発明のスラブとそれに関連するフロアとは、モールドによってのみ完成可能な製品であることである。実際に、外側表面の下に配置されている色相を見えるようにするために、公知の技術では必要であった、それ以上の複雑な作業が必要ない。

そのため、本発明の製品では、異なるグループのレリーフとの間で製造上の不良が生じないため、露出した表面の美的受容性が従来に保証される。

本発明のスラブは第1図において、相互に異なる方向と所定の距離を有するレリーフのグループと関連して説明され、示されてきたが、この実施例の多面性は可能である。

実際に、第1図に示されたベースモジュール又はその一部でも、スラブの強いの部分をなめらかな表面のままにし、あるいは追加的に表面の不均等性を形成するように、同軸に微粒子を配置したままにして構成することが可能である。

一般に、スラブは少なくとも2つの領域からな

2 0

され得る。それは例えば八角形、円形、方形又は楕円形などである。追加的には、前記個々のグループのレリーフは、平行又は平行でない、及び/又はそれらの混合した曲線の長さにより形成可能であり、つまり曲線及び直線の長さである。

特に指摘すべきことは、異なる色彩の効果、目的物、人物、風景、樹木、花などに対応する異なるパターンを作り出すように、相互に異なるレリーフを有する異なるグループの配列が実行可能である。

様々な形態がスラブで構成可能であり、該スラブのベース表面は均一のパターンを有し、既に知られた円筒形の埋め込みピースにより形成された図面を提示し、そしてその中で、本発明の形態に従い、前記円筒形の埋め込みピースの頂部には上述の説明に従い方向づけられたレリーフが配置されている。

なお本発明の好ましい実施例によれば、ほぼ四角形のベースモジュールが、1つの対角線に従い方向付けされた複数の対角線上のレリーフグルー

2 1

-454-

2 2

JP,03-008967,A

☒ STANDARD ☐ ZOOM-UP ROTATION

No Rotation

☐ REVERSAL

RELOAD

PREVIOUS PAGE

NEXT PAGE

## 特開平 3-8967 (7)

ブと、他の対角線に従い方向付けられた中央軸線上のレリーフグループとを有するスラブが交互に出される。

その他の実施例においては、スラブの余白 (margin) が外形の細部に沿って延びかつ残りのベース表面のそれよりむしろめらかな表面と対照的な外見を作り出すように型の中で得られた適当な延びを有しているストライプを含んでいる。この解決法を応用することにより、フロアを形成するために並べて配置された異なるスラブの間の境界が、より見えにくくなる。

本発明のスラブは鋳製又はロールプレスで製造可能であり、そこで該材料に接触する表面の一つには、完成された製品上に目で見えるように埋められたものに対応する図画又はパターンが配置されているなければならない。

前記製品は個別のスラブの形態又は既に他のスラブと関連して形成された複数の異なる長さのロールの形態で獲得可能である。

本発明の範囲に含まれているのは、前述のよう

2 3

な結果としてのこのスラブにより提供される、滑らかな表面である。

## 4. (図面の簡単な説明)

第1図は、本発明にしがたった正面図、第2図及び第3図は、2人が2つの反対側の位置から見た時の、光の作用に従って変化した、第1図に示されたスラブの色相の異なる事例。

1・スラブ、2・ベース表面、3・細長いレリーフ、4～12・レリーフのグループ。

代理人 弁理士 湯 浅 雄 (外4名)

な光の反射を生ずるように、多数のさざら、不均等柱などの形態の細長いレリーフである。

上述の色相と並んで、前記スラブは、前記レリーフが上述の方式で配置された明色を含むことも可能である。

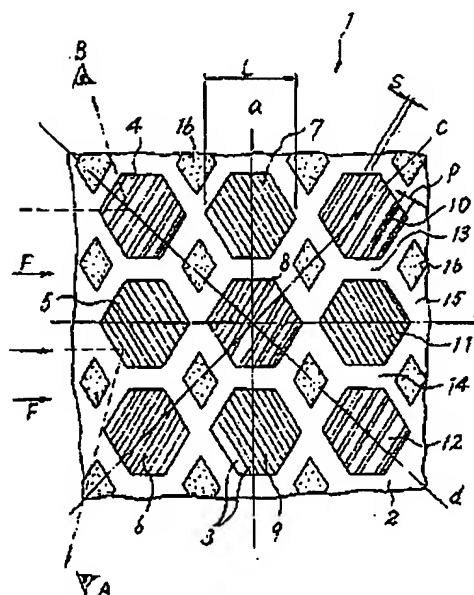
その他の本発明の実施例によれば、前記スラブは図画と図画を有することができ、この場合、該型の上図と下図に対応する図画を配置する必要がある。この解決法により、使用者は2つの異なる表面を選択でき、又は1表面が磨耗した場合に同一の図画あるいは異なる図画を有する他面を使用することができる。

スラブ上の光の反射の遊びを増加するために応用される更にその他の特徴は、最初の構成要素に実行され、モールドイング工程の間に実行される特別の作業段階により表示可能であり、前記スラブ上の細かなレリーフグループの表面になめらかな外見を与えることにより表示可能である。

本発明の更にその他の重要な利点は、異なる実施例において説明したような、多数のレリーフが存

2 4

第 1 図



2 5

-455-

JP,03-008967,A

☒ STANDARD ☐ ZOOM-UP ROTATION

No Rotation

☐ REVERSAL

RELOAD

PREVIOUS PAGE

NEXT PAGE

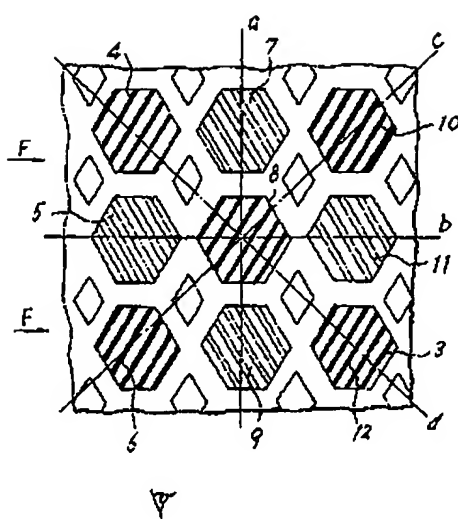
JP,03-008967,A	<input checked="" type="radio"/> STANDARD	<input type="radio"/> ZOOM-UP	ROTATION	No Rotation <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> REVERSAL	RELOAD
PREVIOUS PAGE		NEXT PAGE				



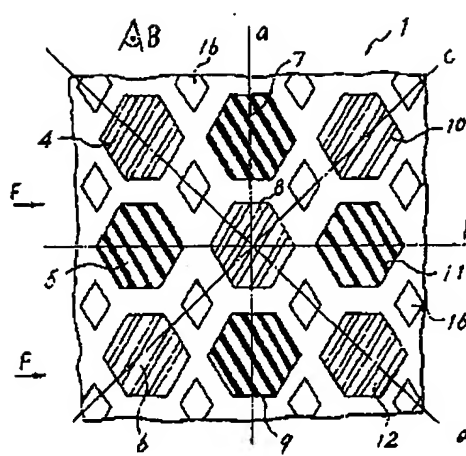
FIG.

特開平 3-8967(8)

第 2 圖



第 3 圖



# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-008967

(43)Date of publication of application : 16.01.1991

(51)Int.Cl.

E04F 15/02

(21)Application number : 02-131117

(71)Applicant : ARTIGO SPA

(22)Date of filing : 21.05.1990

(72)Inventor : ZANGRANDI CAMILLO

(30)Priority

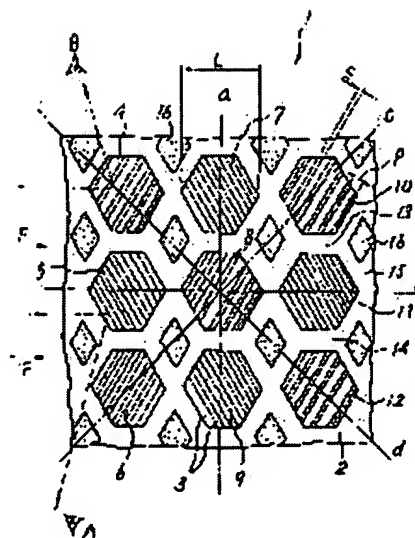
Priority number : 89 20594    Priority date : 22.05.1989    Priority country : IT

(54) SLAB FOR FLOORING AND RELATED FLOOR

(57)Abstract:

**PURPOSE:** To provide optical effects using a slab made of a single-colored elastic material by making the slab include a number of elongate reliefs, and disposing groups of the reliefs so that the different groups reflect light in different ways.

**CONSTITUTION:** A slab 1 is formed comprising a dark-colored elastic composite material having a rectangular base surface 2 and a number of elongate reliefs 3. In this case, the slab 1 includes the reliefs 3 in groups 5, 11 and 7, 9 disposed respectively on the vertical axes (b) and (a) of the slab 1 and also include the reliefs 3 in groups 4, 12 and 6, 10 disposed respectively on diagonals (c) and (d) to the groups 5, 11 and 7, 9 and crossing the axes (a) and (b), respectively. The groups of different reliefs are aligned in such a manner that ribs of the different groups have pitches in the range of about 0.4 to 3 mm and form different patterns. Different effects can thus be obtained depending on the reflection of light.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]